

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (甲信越)	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・クリスマスや正月を楽しむ一方、最期は仏式という考え方が変わってきている。戒名をもらって仏の弟子になるという考え方ではなく、親族や近い人だけで故人らしく送りたいという考えの人が多い。
	○	商店街（代表者）	・今はこんなにも売れないが、夏休みが終わって学校が通常どおりに始まれば、今より良くなる。普通なら今はそれほど悪い時期ではないが、今年の動きは全く想像もつかない。
	○	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルス感染の第2波への懸念はあるものの、生産が安定してくれば新型車効果もあり、現状より改善が見込まれる。
	○	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大の状況次第で、再度移動の自粛要請などが発出されることも考えられ、需要回復の流れが鈍化するかもしれない。しかし、ウイルスについて知見が増え、徐々に対策などができるようになっており、それに合わせて今までどおりとはいかないものの、人の動きも回復傾向にあると考えている。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・Go To キャンペーン関連に期待したい。現状は大幅な恩恵は感じられないが、Withコロナを念頭に対策をしつつ、うまく活用できれば回復への期待が持てる。確実に一般利用は増えて良くなっていくだろうが、法人の大口利用が動かない限りは、大幅な回復は見込めない。
	○	通信会社（社員）	・新型コロナウイルスが、ぶり返している感もあり、今後の見通しは決して明るいとは言えない。これまでのマイナスを取り返すべく、キャンペーン等で市場を刺激していきたい。
	○	観光名所（職員）	・観光客は戻りつつあるが、当然のことながら団体ツアー客はほとんど来ない。個人客はいつになく若年層が多い。パンデミックにでもならない限り、このまま徐々に回復していったらいい。当地もソーシャルディスタンス、消毒などの対策を十分講じながら営業している。
	○	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルス、豪雨災害等により別荘の利用価値が見直される気配を感じている。別荘見学者がわずかずつではあるが増加傾向にある。
	□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの重篤な感染者は減っているが、感染者数は高止まりしている。Go To キャンペーンも時期を焦りすぎて、効果も半減ではないかと考えている。この1年～1年半は我慢のしどころで、運転資金の手当てをしてしのぐしかない。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・今年は長梅雨なので、梅雨明け後に夏物商材の動きが盛り上がることを期待している。
	□	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響がまだ続いている。ここにきて、感染者が増えてきており、やはり消費者にも多少不安な気持ちがあるので、現状とさほど変わらない。
	□	百貨店（店長）	・新型コロナウイルスの終息が見えないなか、現状も厳しいが、今後良くなるとは思えない。とにかく新型コロナウイルス次第である。
	□	スーパー（経営者）	・当市では5000円分の商品券を3000円で買うことができるプレミアム付商品券のイベントが行われる予定で、販売参加登録もしてある。1か月の店舗売上が100万円以上ある店は総額100万円分、100万円以下は総額50万円分の販売チケットを申請できる。イベントを通じて、少しでも景気が良くなれば有り難い。
	□	コンビニ（経営者）	・8月に入れば梅雨明けだと思うので、若干売上は伸びるが、新型コロナウイルスの影響で前年と比べると厳しいとみている。コンビニ業界はそんなに減りはしないと思うが、やや悪くなるかわからないのではないかとみている。
	□	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス収束のめどが立っていない。
	□	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス感染の第2波の影響がある。
□	コンビニ（店長）	・現状は、新型コロナウイルスの影響が大きいですが、今後も収束のめどが立っていない上、逆に若干悪くなっていくような傾向もある。ただし、余り変わらないのではないかと。	

□	衣料品専門店（経営者）	・期待できないのは言うまでもない。
□	その他専門店〔貴金属〕（営業）	・新型コロナウイルスのワクチンが出回るまでは、変わらない。
□	一般レストラン（経営者）	・いろいろな規制が緩和され、多少の変化は見られたものの、現在の新型コロナウイルスの感染者動向をみると、また規制が元に戻ってしまうのではないかと。同じことの繰り返しが続くと思うが、何とか経済を動かしたい。
□	スナック（経営者）	・新型コロナウイルス次第だと思うので、正直よく分からない。3か月以内に改善することはなさそうである。
□	都市型ホテル（支配人）	・新型コロナウイルスの終息が見えないどころか、逆に全国で感染者が増えている。再度の自粛ムードによって、せっかくのGo To Travelキャンペーンも影響が薄い。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・Go To Travelキャンペーン等が始まり、7月は徐々に上向いてきていたが、東京をはじめとして全国の新型コロナウイルス感染者が再び増え続けているため、上向きがまた収束モードになるのではないかと。8月の夏休み期間、客足の動きに注目していきたい。
□	旅行代理店（副支店長）	・Go To Travelキャンペーンの利用で、今後の動きは多少出てきているが、実際は新型コロナウイルス感染の第2波と思われる状況下のため、受注は少ない。今後の感染状況によっては、緊急事態宣言の時点に戻る可能性もあり、客の動きが非常に鈍い。企業にも大きな影響が出ており、旅行どころではないようである。景気の悪い状態は変わらない。
□	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が再び拡大しつつある不安と経済的な不安から、より一層厳しさは増していく。
□	設計事務所（経営者）	・予想のつかない現状では、計画を進めていこうという人はまだ少ない。
▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	・「新しい生活様式」を掲げた状況でも解雇による失業者は、経済面に限らず多方面で大変である。世界的な新型コロナウイルスの感染拡大で、商材が欠品したり、製造が困難となったり、先行きは不安定な要素しかみえない。
▲	スーパー（経営者）	・夏のボーナス減少、祭りや花火大会の中止、お盆の帰省も大幅減の見込みで、やや悪くなる。
▲	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、景気が低迷している。
▲	自動車備品販売店（従業員）	・このところ、新型コロナウイルスの感染者が増えてきており、冬季商材の販売時期と感染の第2波、第3波が重なって、外出自粛等が増えることも予想されるので、景気はやや悪くなる。
▲	その他専門店〔酒〕（店長）	・9月末まで持続化給付金事業が持続することは素晴らしいが、その後の状態について予測はなかなか難しいが悪くなるのではないかと。現状、当店は個人客を中心に前年よりも非常に良くなっているが、飲食店では相変わらず客が増えていない状況や、客は戻ってきてはいるものの、なかなか満席にすることができずキャンセルも多いという話を聞いている。新型コロナウイルス感染の状況を見ながら、一進一退の状況ではないかと。
▲	スナック（経営者）	・4～5月の緊急事態宣言による休業要請が出た後、今月は多少客が戻ってきている。東京などでまた新型コロナウイルス感染者が増えてきており、感染の第2波が心配される。第2波が来て感染者が増えれば、来店客もかなり減ると思うので、先が全く読めない。
▲	タクシー運転手	・前月の売上は前年比70%だったが、今月もほぼ同じである。今後は新型コロナウイルスの状況次第なので分からないが、やや悪くなるのではないかと。
▲	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・プロスポーツなど、徐々に再開し観客を入れているが、新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着かない限り、夏休みに入っても客足に期待はできない。また、国体も延期され、地方予選もできない状況で、良くなる材料が見当たらない。
×	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス感染の第2波が起こりつつあり、経済が停滞し、特に、観光、飲食等への影響が続く。
×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、どこも落ち込んでおり、景気は良くない。

	×	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まらなければ、一層の外出自粛や再度の営業自粛、緊急事態宣言が発出されるため、悪くなる。
	×	スナック（経営者）	・良くなる要素が1つも見当たらない。皆がどうしているのか1番気になるが、とにかく状態が良くない。
	×	ゴルフ場（経営者）	・今後どうなるかは分からない。ただ、新型コロナウイルス、温暖化による気候変動と自然災害、そして米中関係等により経済活動が縮小することを前提として、経営計画を立案すべきだと考えている。
企業 動向 関連  (甲信越)	◎	—	—
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・受注は上向いてきているものの、新型コロナウイルスの感染者数が増加してきており、先行きは不透明である。
	○	電気機械器具製造業（営業担当）	・今月の生産は納期順延等があり落ち込んだが、この先は多少上向く傾向にある。
	○	金融業（経営企画担当）	・新型コロナウイルス感染の第2波への懸念はいまだ残るが、経済活動再開の流れの影響を受け、当エリア内取引先の企業活動も緩やかに回復するとみている。
	○	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・新型コロナウイルス感染の第2波が懸念され、どこまで経済活動が回復するのかが不透明である。現状では予想が困難と考える。
	□	食料品製造業（営業統括）	・7月の長雨の影響で原料に病気が大発生し、入荷量の減少が懸念される。また、新型コロナウイルスの影響が、今後どうなるか全く見通しが立たず、出荷量も大きく左右される。
	□	食料品製造業（総務担当）	・秋の到来とともに消費は上向くはずだが、新型コロナウイルス感染の第2波に入る恐れがある。それに伴うイベントの中止、移動制限等のマイナス要因が予想される。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・新規案件が少ないため、変わらない。
	□	建設業（経営者）	・秋頃になればと民間工事の話が出ている。受注方法を考え、当社はもちろん、地域全体が明るくなるよう期待している。
	□	金融業（調査担当）	・新型コロナウイルス感染の第2波の懸念が続き、観光産業は厳しい環境が続く。製造業でも外需の持ち直しの遅れに加え、米中の経済対立が深刻化し、更なる下振れも懸念される。
	▲	窯業・土石製品製造業（経営者）	・来年の年末商材の受注見込みがはっきりとせず、現在の多忙も秋口まで、先行きは不透明である。合わせて、新型コロナウイルスの影響でワークショップの予約も減っている。
	×	食料品製造業（製造担当）	・新型コロナウイルス感染の第2波の影響で、一層外出が厳しくなり、取引先からの発注は増えないとみている。しばらくはこの調子で、景気はますます厳しくなる。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
	×	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・香港で延期が続いていた宝飾展示会が、ようやく11月に開催予定だが、年内は入国制限があるため、展示会への出展はできない。国内展示会も、売上を支えていた中国人パイヤーの来場が見込めないことから、大きく落ち込む見通しである。国内マーケットは厳しい状況が続いており、海外分を国内に振り替えることはできないため、年内の回復は期待できない。
	雇用 関連  (甲信越)	◎	—
○		—	—
□		求人情報誌製作会社（経営者）	・求人広告掲載の動きは鈍いままで、更に今後の景気の見通しが読めないなか、求人自体の先行きが不透明である。
□		職業安定所（職員）	・宿泊業がどこまで回復できるか不透明で、工作機械やメーター関係の製造業の状況は変わらないとみている。
□		民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルス、米中摩擦といった大きな要素から、受注に対する不安が続き、求人が落ち込んでいる。こうした現状から、しばらくはこのままで推移する。
▲		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染拡大の第2波が非常に大きくなってきているため、再び緊急事態宣言や自粛要請が発せられる可能性も考えられる。
×	人材派遣会社（営業担当）	・夏のボーナス支給のない企業が予想より多い。購買意欲が全く湧かないことや、ボーナス払いに苦労している様子がうかがえる。	

×

職業安定所（職員）

・良くなる要素がない。